［記録写真］ 一令和元年度十和田八幡平国立公園岩手山地区 高山植物盗採防止合同パトロール　20190625(1/2)一

主催　東北地方環境事務所十和田八幡平国立公園盛岡管理官事務所

〔工程概要〕
距離：往復　約　9.2 km
標高差　約　466 m

〔今回の所要時間〕　4:50
出発　9:10
帰着　14:00

〔メモ〕
【日時】　令和元年6月25日(火)　9:00　～　14:00 頃　　【天候】　晴
【場所】　奥産道・三ツ石コース
【参加者総数】　29名

・東北森林管理局盛岡森林管理署	4名
・　同　岩手北部森林管理署	3名
・岩手県警察盛岡西警察署雫石交番	1名
・　同　滝沢中央交番	1名
・　同　岩手察署柏台駐在所	1名
・八幡平自然公園保護管理員	3名
・雫石町商工観光課	2名
・　同　自然公園保護管理官	5名
・　同　道路パトロール員	1名
・網張ビジターセンター	1名
・岩手山地区パークボランティア	5名
・東北地方環境事務所十和田八幡平国立公園盛岡管理官事務所	2名

【概況】　（文責；家子）

・駐車場の混雑が予想されパークボランティアは車2台に相乗りして行ったが関係者以外の車もなく駐車場の混雑もなかった。

・開会式では、パトロールの目的や工程、特別保護地区や特別地域、参加者について説明・紹介があった。

・開会式後、ゲートを通り道路両サイドの盗掘状況を確認しながら三ツ石山へと向かった。登山道には残雪もなく一部泥濘はあったが特に問題もなく避難小屋に到着。休憩後山頂を目指してパトロール開始、丁寧に調査したが、盗掘箇所は発見されなかった。山頂で休憩後、下山し三ツ石避難小屋で情報交換、
①新たな盗掘についての意見はなかった。
②「紅葉時期等は山頂付近で昼食時に混雑し、登山道からはみ出す場合があり、人数が多いと注意するのも困難な状況がある。」との意見があった。
・盗採等の情報があった場合は、環境省で対応する。
・施設の破損等、その他の情報も共有したい。

・昼食後、予定通り復路に付く。復路も周囲の植物等を確認しながら、ひたすら出発地点を目指す。途中でヤマオダマキの群生に気づき写真撮影、オオハンゴンソウやタンポポも気にしながら事故なく全員出発地点に戻り閉会式

【フィールドで出逢った主な植物】　ギンラン、ツルニンジン、イワテハタザオ、ヤマオダマキ、マイヅルソウ、ギンリョウソウ、イワカガミ、ワタスゲ、イワイチョウ、ミヤマダイコンソウ、ツバメオモト、ツマトリソウ、エンレイソウ、ショウジョウバカマ、シラネアオイ、オオバキスミレ、サンカヨウ、ミズバショウ、ベニバナイチゴ、ウラジロヨウラク、ゴゼンタチバナ、ハクサンチドリ、ミヤマキンバイ、オノエラン、アカモノ、タチギボウシ、ノビネチドリ、タニウツギ、モウセンゴケ

〈今回参加PV〉　5名敬称略、順不同
戸澤（武）、戸澤（美）、佐々木（満）、民部田、家子
〈写真提供〉工藤AR，民部田PV

荒巻管理官挨拶

出発前の説明

ギンラン

大松倉ゲートより出発

長澤　自然公園
保護管理官の説

ツルニンジン

モグラ？

イワテハタザオ

イワテハタザオ

ヤマオダマキ

マイヅルソウ

マイヅルソウ

三ツ石登山口で休憩

ギンリョウソウ

イワカガミ

三ツ石山荘に到着

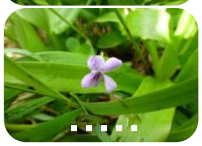
［記録写真］ 一令和元年度十和田八幡平国立公園岩手山地区
高山植物盗採防止合同パトロール　 20190625(2/2)一
主催　東北地方環境事務所十和田八幡平国立公園盛岡管理官事務所

三ツ石湿原の山野草の一部

ワタスゲ

イワイチョウ

ハクサンチドリ


……

三ツ石山荘より三ツ石山に向かって出発

ミヤマダイコンソウ

もうすぐ三ツ石山頂

ギンリョウソウ

三ツ石山頂到着

展望は360°

狛犬ロック

三ツ石山下山

三ツ石山荘で情報交換会

三ツ石湿原カエルの合奏で下山

ヤマオダマキの群生

閉会式：奥産道大松倉ゲート

令和元年度　岩手山地区三ツ石山
高山植物盗採防止パトロール